



## 革新的な省力化技術で、 安全かつ持続可能な 現場づくりを支える



## 株式会社イシガプロ サステナビリティ宣言

2026年3月1日  
株式会社イシガプロ  
代表取締役 石垣文隆

### 私たちのサステナビリティ宣言

私たちが向き合っているのは、単なる草刈り作業ではなく、地域の安全や景観、そして社会インフラを支える大切な現場です。しかしその一方で、急斜面や猛暑下での作業は常に危険と隣り合わせであり、担い手不足や高齢化といった課題が深刻化しています。

当社は、ラジコン草刈り機の普及を通じて、「危険だから人が行かない」「草刈りは面倒だ」という当たり前を変えたいと考えています。遠隔操作による省力化と安全性の向上は、作業者の負担や事故リスクを軽減するだけでなく、年齢、経験、性別に左右されず、多様な人材が安心して活躍できる環境を生み出します。

効率的で安定した環境管理を実現することは、地域の景観保全やインフラの持続的な維持にもつながります。私たちは技術の力によって「人を守りながら社会を支える仕組み」を広げ、次世代へ安心して引き継げる持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

# 事業のすべてのステージで

## サステナビリティへの取り組みを推進していきます。

当社では、事業活動のすべてのステージで、サステナビリティを視野に入れた活動に取り組んでいます。

サステナブルポリシーの下に、新たに力を入れて取り組むことに加え、従来から私たちが推進してきた活動を仕事の流れの各ステージごとに示しました。

### 正の影響の強化



・文書・記録の動的更新と作業可視化



・対話型関係構築の持続



・倉庫機能活用でものづくりから販売までの  
流れの効率化



・収益持続型サブスクモデルの設計



・顧客接点における情報発信の強化



・顧客フィードバックを製品改善に直結



・国内修理サービス体制の確立



・安全意識向上のための研修制度構築



・保守部品情報の公開による保守性向上



・動画活用など説明手法の多様化



・部品供給体制の整備と効率化



・販路拡大のためのECサイト検討



・修理知見の蓄積と  
予防的注意喚起の実施

### 企画・設計

### 製造

### 仕入れ

### 販売・導入支援

### 運用・保守

・地政学・供給途絶リスクを多元調達を含め検討



・定期的な仕入れ先の品質現場監視



・まとめ仕入れによるコスト最適化検討



・燃費・消費電力指標を企画要件化



・中国ESG動向の定点観測



・配送形態の再構築と環境負荷管理



・高齢化・熱中症対策を企画に明示  
・設計改善ポイントの確保、販売・デモ時  
の注意事項を明確化



・為替リスクヘッジ手法の情報収集



### 負の影響の最小化



# イシガプロの4つの約束

## 環境への貢献

- 2030年までに、メーカー・国内修理事業者・顧客間で直接修理対応が可能なサポート体制を確立する
- 2030年までに、国内互換パーツ30点以上を整備し、ECサイトで常時供給可能な体制を構築する

### 長く使える製品づくりへの挑戦

当社は、製品を販売して終わりとするのではなく、修理を通じて長く使い続けることが環境負荷の低減につながると考えています。国内外の修理体制の構築と有償修理を前提とした仕組みを整備し、製品の長寿命化を推進します。また、開発メーカーと顧客が直接日本語で対応できる体制を構築することで、不必要な出張や輸送を削減し、環境負荷の低減を図ります。

また、パーツリストのECサイト公開により誰でも気軽にパーツ購入できる体制も整えます。当社は「修理して使い続ける」という価値の普及を通じて、資源循環と持続可能な環境保全に貢献してまいります。

#### 【具体的施策】

- ・国内外修理体制の構築
- ・有償修理の価格体系整備
- ・パーツリストのECサイト公開



## 安全で信頼性の高い製品・サービスの提供への貢献

- 2030年までに、仕入れ先品質管理の強化により初期不良・故障発生率を2025年比50%削減する

### 安心と信頼の製品づくりを目指して

当社は、製品品質の確保が企業としての責任であり、顧客との信頼関係の基盤であると考えています。海外サプライヤーを含む製造現場との継続的な対話と確認を通じて品質管理体制を強化し、初期不良や故障の低減に取り組みます。調達先任せにするのではなく、ものづくりから販売までの流れ全体で品質向上を図ることで、安全で信頼性の高い製品提供を実現し、長期的に安心して利用いただける事業運営を推進してまいります。

#### 【具体的施策】

- ・定期的な工場訪問およびオンラインミーティングの実施
- ・不良・故障データの収集とフィードバック
- ・再発防止ガバナンスの構築
- ・仕様変更管理のルール化



## 社会への貢献

- 2030年までに、高温環境下でも安全に作業可能な草刈り手法の普及を推進する
- 2030年までに、安全講習および民間資格制度の整備を進め、安全な作業環境の定着を推進する

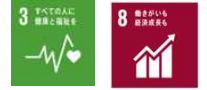
### 誰もが安心して草刈り作業ができる環境づくりを目指して

ラジコン草刈り機の普及を通じて、草刈り作業そのもののあり方を変えていきたいと考えています。従来の草刈り作業は、炎天下での重労働や転倒・接触事故のリスクを伴い、高齢化が進む現場において大きな負担となっています。

私たちは「草刈りは大変な作業」という常識を、「誰でも安全に行える作業」へと転換することを目指しています。遠隔操作によって身体的負担や熱中症リスクを軽減することで、高齢者や女性、経験の少ない方でも安心して作業に携われる環境づくりを進めます。さらに、安全講習や資格制度の整備を通じて正しい操作知識の普及を図り、作業事故の未然防止と機械の長期的な安全利用を促進します。当社は製品を提供するだけでなく、利用する人の安全と健康を守る仕組みづくりを通じて、持続可能な地域社会と働き方の実現に貢献してまいります。

#### 【具体的施策】

- ・高齢化や酷暑環境における作業負担軽減を考慮した製品企画方針の策定
- ・関係事業者と連携し、安全講習および民間資格制度の構築



## お客様満足度向上への貢献

- 2030年までに、お客様からの声を製品改善へ反映する仕組みを構築し、不具合発生率を2025年比50%削減する

### お客様の声を大切にした製品づくりへの挑戦

当社は、製品品質の向上は企業内部のみで完結するものではなく、実際に利用されるお客様の声によって磨かれるものだと考えています。お客様から寄せられる意見や改善要望を継続的に製品開発へ反映することで、より安全で信頼性の高い製品提供を実現し、長期的な信頼関係の構築およびお客様満足度の向上につなげてまいります。

#### 【具体的施策】

- ・顧客フィードバック収集プロセスの標準化
- ・海外メーカーとの改善進捗管理体制の構築
- ・改善結果の顧客還元仕組み化
- ・フィードバック循環（PDCA）の確立  
「収集 → 分析 → 改善 → 再評価」の運用化

